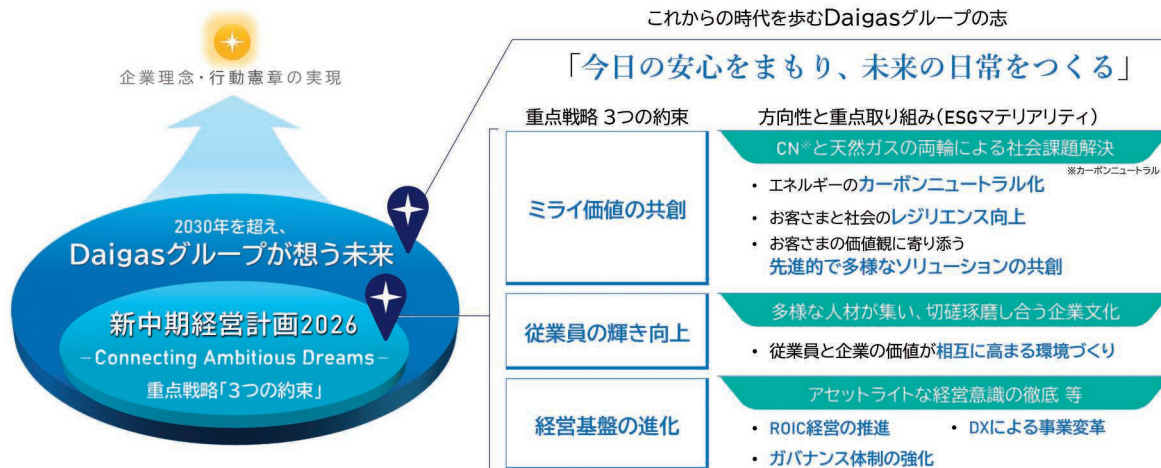


(ご参考) Daigasグループ 中期経営計画2026 「Connecting Ambitious Dreams」の概要

(1) Daigasグループの志、重点戦略「3つの約束」



(2) 基本方針

①重点戦略「3つの約束」

- ・ 前中期計画発表以降の変化として、グローバル大での脱炭素潮流の一層の加速やエネルギーセキュリティが脅かされることにより社会課題解決に対する要請が一層高まるとともに、働く意識の多様化が加速
- ・ 本中期計画では、社会課題解決に貢献するミライ価値の共創、従業員の輝き向上、経営基盤の進化を重点戦略「3つの約束」として掲げ事業活動に取り組む

②ステークホルダーとの共創

- ・ 持続可能な社会の実現に向け、社会課題の解決に貢献するミライ価値の共創に取り組み、ステークホルダーの皆さまとその成果を分かち合う

③持続的成長に向けた取り組み

- ・ トランジション期に重要性を増す天然ガスの開発・発電・高度利用等により、引き続き利益を伸ばすとともに、カーボンニュートラル社会を見据え、再生可能エネルギー等への成長投資を推進し、将来の事業基盤の構築を進めることで、持続的な成長を目指す

④ 経常利益・ROIC・ROE

- ・国内エネルギー、海外エネルギー、LBSの各事業を伸ばし、利益を着実に拡大させる
- ・カーボンニュートラルに向けた投資が収益貢献するには期間を要するものの、足下の利益成長や資産の入替え、事業ポートフォリオの見直し等を通じて資本効率性を向上させ、ROIC 5%程度を目指す
- ・同時に、従来よりキャッシュフローが向上し、事業ポートフォリオが強靱化したことを踏まえ、財務レバレッジを拡大し、財務健全性に配慮しながら（自己資本比率45%以上）、ROE 8%程度を目指す

⑤ 成長投資

- ・資本効率の最大化に工夫しながら、「既存領域（火力電源・シェールガス等）」への投資を進め足下（トランジション期）の利益を拡大するとともに、「カーボンニュートラル領域（再生可能エネルギー・e-メタン等）」への投資を拡大し、カーボンニュートラル社会を見据えた事業ポートフォリオへ転換を進める

⑥ 株主還元方針

- ・短期的な利益変動が大きくなる中、配当水準の維持と中長期の成長に応じた増配を目指し、累進配当（原則、減配を実施せず、増配または維持）を導入
- ・長期安定的な増配を目指し、株主還元指標を従来の「配当性向30%」から「株主資本配当率（DOE）3.0%」に変更
- ・機動的に自己株式の取得などを検討し、資本効率の向上を図る

⑦ キャッシュアロケーション

- ・これまでの事業成長により、営業キャッシュフローの創出力が向上
- ・財務健全性を考慮した上で、前述の成長投資と株主還元により企業価値の向上を図る

⑧ 財務目標・非財務目標

- ・④の財務目標・以下の非財務目標を掲げ、ステークホルダーの皆さまからより一層共感いただける企業グループを目指す
- ・これら主要な経営指標に役員報酬制度を連動させ、活動を力強く推進する

エネルギーのカーボンニュートラル化

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| ・CO ₂ 排出削減貢献量 | 700万ト _n |
| ・再エネ普及貢献量 | 400万kW |
| ・自社オフィス・社用車CO ₂ 削減率 | 67% |

お客さまと社会のレジリエンス向上

- | | |
|---------------------|----|
| ・重大事故および自社起因の重大供給支障 | ゼロ |
|---------------------|----|

先進的で多様なソリューションの共創

- | | |
|-------------|---------|
| ・お客さまアカウント数 | 1,090万件 |
| ・お客さま満足度 | 90% |

従業員と企業の価値が相互に高まる環境づくり

- | | |
|-----------------|------|
| ・ワークエンゲージメントスコア | 50以上 |
|-----------------|------|

健全でしなやかな経営基盤構築

- | | |
|----------|-----|
| ・女性取締役比率 | 25% |
| ・重大な法令違反 | ゼロ |

(※)中期経営計画2026の詳細につきましては、当社ウェブサイト
(https://www.daigasgroup.com/ir/library/management-plan/#long_term) をご覧ください。